

「あいまいな喪失 (Ambiguous Loss) 行方不明者家族・故郷を失っている方への支援」 のご案内

東日本大震災の影響で、現在も家族の行方がわからない方、故郷を失っている方が多くおられます。このような喪失を「あいまいな喪失 (ambiguous loss)」といいます。この理論の提唱者であるミネソタ大学の Pauline Boss 博士と Skype 中継を用いて、行方不明者家族や故郷を失っている方への支援についての事例検討会を開催します。皆様のご参加をお待ちしております。

講師紹介：Pauline Boss 博士 (ミネソタ大学)

ミネソタ大学名誉教授。自身の体験から「あいまいな喪失 (ambiguous loss)」理論の提唱者。行方不明者の家族に対する豊富な支援経験を持つ。9.11 米国同時多発テロの際も、行方不明となった家族の支援にあたる。著書に『『さよなら』のない別れ、別れのない『さよなら』』。学文社 .2005、
「Loss, Trauma, and Resilience : Therapeutic Work with Ambiguous Loss」. W W Norton & Co Inc.2006 など。



研修会 あいまいな喪失理論を理解するために

昨年度の Pauline Boss 博士の講演会、ワークショップを受講していない人を対象とし、あいまいな喪失理論の講義・演習を行います。昨年度開催の講演会、ワークショップ (12/1 または 12/3) を受講していない人が、事例検討会に出席するためには、本研修を受講していただくことを条件としております。※研修会のみのご参加も可能です。

日時：2013年10月4日 (金) 16時～18時 (計2時間予定)
場所：福島大学総合教育研究センター2階 特別教室 福島市金谷川1番地 福島大学
講師：石井千賀子 (ルーテル学院大学・東京女子大学講師) 黒川雅代子 (龍谷大学短期大学部准教授)
瀬藤乃理子 (甲南女子大学准教授) 中島聡美 (国立精神・神経医療研究センター犯罪被害者等支援研究室長)
生島 浩 (福島大学大学院人間発達文化研究科教授)
定員：70名 (希望者多数の場合は被災地の方を優先いたします)
対象者：医療・心理・福祉専門職・教育関係者、支援に携わる専門家など
資料代：1,000円

事例検討会 行方不明者家族・故郷を失っている方への支援 (Skype でアメリカの Pauline Boss 博士と生中継)

※昨年度ワークショップを受講している、もしくは上記研修会に参加していることを受講条件としています。

日時：2013年10月5日 (土) 9時～12時 (計3時間予定)
場所：福島大学人間発達文化学類棟：第10演習室 遠隔授業室 (Skype中継会場)
M棟3階：AV教室 (Skype映像を視聴)
福島市金谷川1番地 福島大学
対象者：医療・心理・福祉専門職・教育関係者、支援に携わる専門家など
講師：Pauline Boss博士 (ミネソタ大学名誉教授、家族心理学) ※逐次通訳あり
定員：100名 (希望者多数の場合は被災地の方を優先いたします。
教室の収容定員の関係上、M棟3階：AV教室になる方が多くなります)
受講料：無料

申し込み方法 JDGSホームページ(「あいまいな喪失 情報ウェブサイト」<http://al.jdgs.jp/>)より、専用フォームでお申し込み下さい。

※なお、専用フォームにアクセス出来ない場合は、dr.boss@human.ryukoku.ac.jpにお問い合わせください。

申し込み締め切り 9月5日(木) ※受講の有無については、9月9日以降にご連絡させていただきます。9月5日以降も席に余裕があれば順次受付致します。

お問い合わせ 龍谷大学短期大学部 黒川 雅代子(dr.boss@human.ryukoku.ac.jp)

(主催) JDGS (Japan Disaster Grief Support) プロジェクト

(共催) 福島大学人間発達文化学類生島研究室、ふくしま心のケアセンター

(後援) ふくしま被害者支援センター